



引き続き 体調管理を



湿気の多さに加え、気温差も大きく、体調管理が難しい時期ですが、先生方はいかがお過ごしでしょうか。校内研修や授業研究会なども本格的に始まり、業務や研究にお忙しい日々が続いていることとお察しします。気温の上昇する日は熱中症対策も加わります。水分はもちろんのこと、栄養と休養をしっかりととり、夏本番に備えてください。

あと2週間ほどで夏休みを迎えます。児童生徒が4月からの成長を実感できるよう、そして、9月からの前期後半に向けて目標をもって夏休みを過ごすことができるよう、前期前半のまとめと振り返りをお願いいたします。



時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

○市教育研究所主催行事 ○市関係行事 ○学校関係行事 ○その他

月	火	水	木	金	土	日
3 南河内小中学校前期課程コミュニケーションDAY 社会科副読本活用研究会 15:30	4 壬生町・下野市児童生徒の体力向上指導者研修会 13:00 市主幹教諭・教務主任研修 15:00 ICT・CAFÉ① 17:30	5	6 幼小連絡協議会第2回研修(南河内小中 13:25) 市教頭研修 14:00 修学旅行(石北小) ~ 7/7	7 人権教育研修 (13:30 石橋小) 県総体 ~7/9	8 	9
10 教科書選定委員会② 9:30	11 新聞の日② 古山小学校コミュニケーションDAY 栄養教諭・学校栄養職員研修 S&U国東小	12 小中一貫の日(国中区) S&U石橋中	13 共同訪問(祇園小)	14	15	16
17 	18 定例教育委員会 小中学校外国語研修①(国東小) 13:30	19 特別支援教育推進研究②14:00	20 前期前半終了	21 夏季休業~8/31 いじめ問題対策連絡協議会①14:00	22	23
24	25	26 小中一貫教育推進協議会 15:00	27 教育課程研究集会(小学校)(壬生町公民館)	28 下小教研B部会	29	30
31 小中一貫の日(国中区) S&U緑小 S&U南河小中 下地区特別支援教育研修(下都賀庁舎)13:30 部種加地域移行検討委員会 19:00						

下野市幼小連絡協議会総会・第1回研修会

6月2日(金)に市内小・義務教育学校の校長先生方、幼稚園・保育園・認定こども園の園長先生方に御参加をいただき、下野市幼小連絡協議会総会、第1回研修会を開催しました。総会では、今年度の会長にむつみこども園の小谷光子園長、副会長にこがねい保育園の金澤久恵園長と、緑小学校の鈴木寧子校長が選出されました。

総会後の研修では、宇都宮大学附属幼稚園副園長の稲川知美先生、教頭の長谷部せり先生より「幼小のカリキュラムの接続」についての御講話をいただきました。稲川先生、長谷部先生からは、幼保小の架け橋プログラムの重要性や、架け橋プログラムの実施にあたり、関係者で大切にしていきたい視点を具体的な事例を交えてお話しいただきました。

市教育研究所では、幼小の接続が円滑に進められるよう、今後、授業研究会や幼児の学校体験、情報交換会等を実施してまいります。

<関係者で大切にしていきたい視点>

- ・幼児期の経験を生かした小学校における自覚的な学びを大切にすること。
- ・幼保小の教育のつながりを意識した活動が、子どもの豊かな体験を生み出し、主体的・対話的で深い学びの実現につながる。



しもつけふるさと学習(ふくべ細工体験)

本事業は、下野市の特産品であるかんぴょうを用いた伝統工芸「ふくべ細工」の体験活動を通して、ふるさと下野市を実感し、そのよさやかけがえのなさ、人々の思いや生き方等に気付くとともに、郷土への誇りや愛着を育てることを目的として行われています。

6月9日(金)には石橋中学校で、6月30日(金)には国分寺小学校でふくべ細工体験が行われました。

ふくべ細工体験では、下野かんぴょう・ふくべ振興の会の皆様に御協力いただいております。

石橋中学校では、乾燥したふくべの薄い表皮を洗う作業から行いました。

乾燥したきれいなふくべを準備してくださる下野かんぴょう・ふくべ振興の会の方々の作業行程を知る機会ともなり、より思いのこもった作品制作につながりました。

子どもたちは、様々な形のふくべから、思い思いの作品を制作していました。

ふくべ細工体験は各校の予定に合わせて11月14日(火)までに全ての学校で実施いたします。



下野市道徳教育研修会

6月27日(火)に、緑小学校にて、道徳教育研修会を開催しました。田村伸夫先生に5年生の道徳科「手品師」の授業を御提供いただきました。

授業では、毎日の生活で起こる葛藤の中で、自分の気持ちに正直に生きる誠実さを大切にしようとする道徳的実践意欲を高めることをねらいとしました。安心感のある雰囲気の中で、児童が自分の意見を明確にし、グループで交流し、ねらいとする道徳的価値について自分との関わりで考えを深めていく様子が、グループで話し合う様子から感じられました。

授業研究会では、導入や板書、発問の工夫等により、児童の思考を深めることに繋がったことを確認しました。また、指導助言・講話では、宇都宮大学の和井内良樹教授から、御自身の「手品師」の実践の様子をお話しいただきました。手品師の話の中に登場しない人物(例:手品師の父母、超一流の手品師)だったら、手品師にどのようなアドバイスをするか、といった内容で、「多面的・多角的に考える」工夫について、参加者の考えを深める機会になりました。

<研修の振り返りから>

- ・グループ協議では、先生方の意見から新たな視点を持つことができた。
- ・板書、発問、問い返し等、様々な点で工夫をすることの大切さを実感した。
- ・今後の自分の課題の解決や、研究に生かしていきたいと思った。



